

<五所川原市 様>

上映日：2025/2/8(土)

場所：五所川原市役所(青森県五所川原市)



気軽に参加できる映画上映で啓発を行ない、地域で目指すべき姿を共有

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

認知症の普及啓発、認知症の早期対応の大切さの理解啓発、認知症と共に生きることの啓発を目的に開催しました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

市担当課の職員です。

●後援などをどのように依頼し、どういった協力を得られましたか？

市内医療福祉介護関係者を通じて周知の協力がありました。

●資金はどのように捻出しましたか？

地域支援事業(交付金)から捻出しました。

●地域の方や関係者にどのように告知をしましたか？

市の広報・HP・LINE、福祉関係部署・公共施設窓口にチラシの設置、介護予防教室での周知、市内医療福祉介護事業所へチラシ(データ含む)の配布と掲示依頼をおこないました。
LINEや介護予防教室での周知の効果が大きかったです。

●上映会当日の様子や反響を教えてください。

認知症に対するネガティブな印象が薄れた様子や、認知症の方を地域で支える・共に生きるとはどういうことかの理解が得られたと感じます。
「感動した」という感想が多かったです。

●今回の活動を通じて、地域作りや今後の活動に繋がりましたか。

認知症サポーターの存在や認知症に関わる様々な制度があることを知らない市民の方が多いことを実感しました。
情報を届けたいターゲットに対してどのように情報発信するか、再検討するきっかけになりました。

●上映会を開催してみて、いかがでしたか？

映画の終盤で描かれたような本人の工夫や家族の工夫、周りの協力体制、周りの雰囲気や空気感について、アンケートから「現実是这样はいかない」という意見もあったが、目指すべき一つの形があることで同じ方向に向かっていくことができるため、とても有意義な内容であったと感じます。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

映画による普及啓発は市民が気軽に参加でき、幅広い年齢層にも興味を持ってもらえる効果的な方法と感じています。

当市では映画上映後に交流会として映画の感想を共有する時間を作ったところ、認知症に関する理解や制度の理解がより深まりました。

この映画は認知症をテーマにしているものの、最後にはネガティブさが残らず、前向きな気持ちになるため、より多くの人に観てもらいたい映画です。

ご担当：五所川原市福祉部
地域包括支援課